

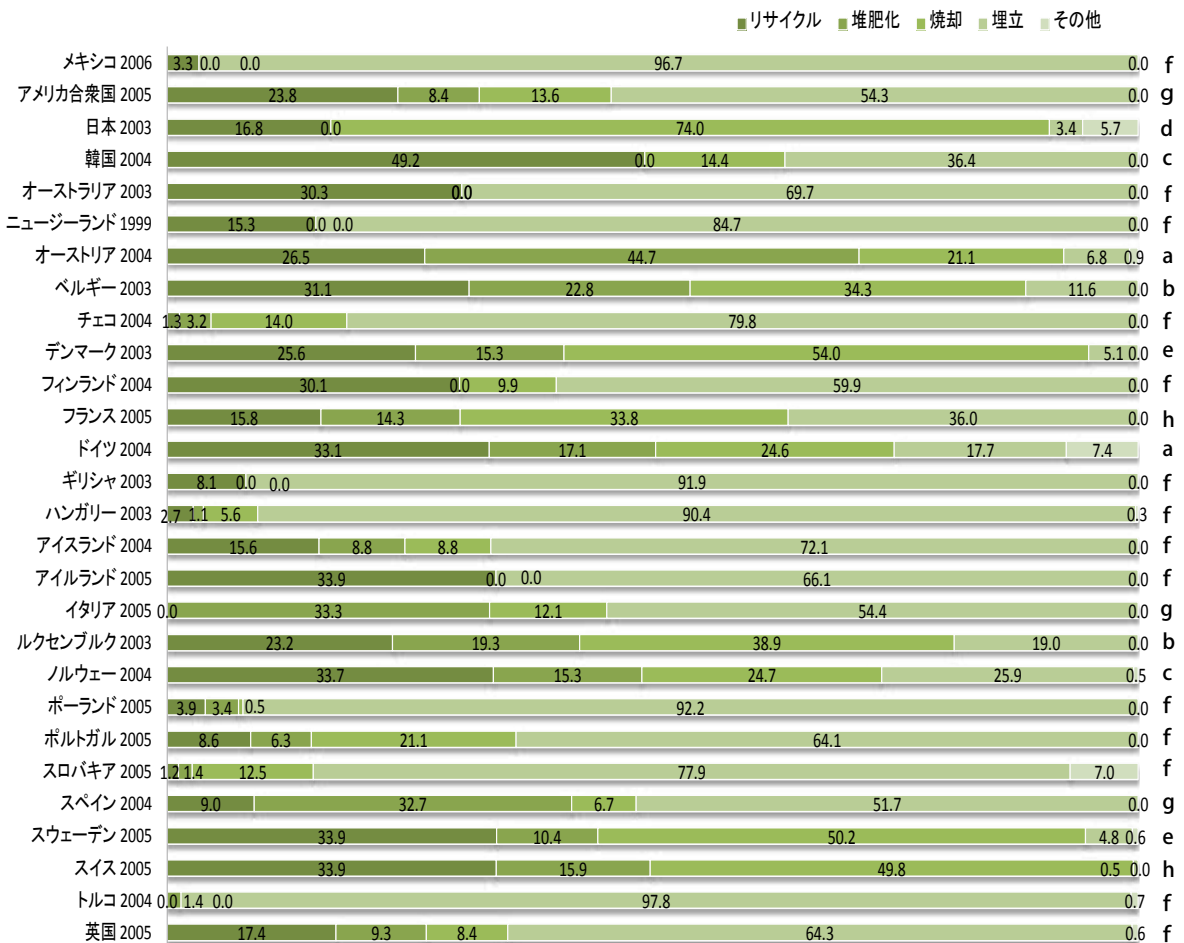
環境省「各国の一般廃棄物処分状況」 (環境経済情報ポータルサイト)

まとめ：ごみかん理事 小野寺 勲

各国の一般廃棄物の処分形態は、堆肥化をリサイクルに含めると、下表の8つのパターンに分けられます。パターンとしては、埋立主体が17カ国と圧倒的に多く、次いでリサイクル主体6カ国、焼却主体3カ国の順になっています。日本は、各国と比べて焼却の割合がずばぬけて高く、リサイクルの割合が低い。

処分形態のパターン	国数	主な国	処分形態のパターン	国数	主な国
a. リサイクル突出型	2	ドイツ	e. 焼却主・リサイクル従型	2	スウェーデン
b. リサイクル主・焼却従型	2	ベルギー	f. 埋立突出型	14	英国
c. リサイクル主・埋立従型	2	韓国	g. 埋立主・リサイクル従型	3	アメリカ
d. 焼却突出型	1	日本	h. 併存型	2	フランス

各国の一般廃棄物処分内訳(%)



※ 1. 環境省「各国の一般廃棄物処分状況」(環境経済情報ポータルサイト)より作成。
 ※ 2. 合計が100%にならないものがあります。